

【リデュース】（軽量化・薄肉化）

①一本当たりの重量変化

2011年実績として、基準年（2004年）対比で1本当たり2.0%の軽量化がはかられた。

1本当たりの単純平均重量は基準年（2004年）の192.3gに対し、2011年実績は178.9gと7.0%（13.4g/本）の軽量化がはかられたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を除いたネットの軽量化率は2.0%（3.8g/本）となった。【表1】

残りの5.0%（9.6g/本）はびん容量構成比の変化によるものである。

なお、基準年（2004年）対比での軽量化による資源節約量は、2006年～2011年（6年間）で、117,343トン（100mlドリンク剤びん換算 9億7786万本）となった。

【表1】1本当たりの平均重量推移

	2004年 (基準年)	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
本数（千本）	7,262,950	7,158,306	7,049,797	6,846,912	6,653,700	6,771,964	6,875,461
重量（トン）	1,396,582	1,343,925	1,313,830	1,266,242	1,213,075	1,222,525	1,230,174
単純平均重量 （g/本）	192.3	187.7	186.4	184.9	182.3	180.5	178.9
ネット軽量化率指標 （加重平均）	100.0	99.0	98.7	98.6	98.2	98.3	98.0
軽量化による 資源節約量(トン)	—	13,575	17,305	17,979	22,236	21,142	25,106

②軽量化実績

2011年に新たに軽量化された商品は、8品種19品目であり、軽量化重量は862トンであった。

2006年から2011年までに軽量化された商品は、11品種147品目となった。【表2】

なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】2006年から2011年までに軽量化された品目

品 種	のべ品目数
小びんドリンク	小びんドリンク（4品目）
薬びん	細口びん（2品目）、広口びん（1品目）
食料品びん	コーヒー（17品目）、ジャム（6品目）、粉末クリーム（2品目）、食用油（2品目）、蜂蜜（1品目）
調味料びん	たれ（7品目）、酢（11品目）、ソース（2品目）、新みりん（2品目）、つゆ（6品目）、調味料（9品目）、ケッチャップ（1品目）、醤油（2品目）
牛乳びん	牛乳（5品目）
清酒びん	清酒中小びん（20品目）
ビールびん	ビール（2品目）
ウイスキーびん	ウイスキー（4品目）
焼酎びん	焼酎（13品目）
その他洋雑酒びん	ワイン（16品目）、その他（1品目）
飲料びん	飲料ドリンク（3品目）、飲料・サイダー（4品目）、ジュース（4品目）